

筑波大学特別支援教育連携推進グループ

令和7年度現職教員研修 グループ員による講義・演習の様子

(専門性向上研修・1年)

先日、令和7年度現職教員研修（専門性向上研修・1年）の開始当初の様子を記事でご紹介しました。宮木沙絵先生（北海道帯広聾学校）は、引き続き筑波大学東京キャンパスで、研修を受けています。

東京キャンパスでの勤務時には、グループ員による講義・演習を受けたり、その後のレポートをまとめたり、5月12日より附属聴覚特別支援学校で始まる実践実習の準備をしたりしながら過ごされています。今回の記事では、講義・演習の様子を一部紹介します。

グループ員として各附属特別支援学校の教諭が派遣されており、宮木先生には、専門とされる聴覚障害以外の障害種に関する講義・演習も受けていただいております。じっくり時間をかけて体験をしたり、一方的な講義ではなく率直に考えたことを話し合う対談をしたりと、本研修だからこそできる形式で講義・演習を行っています。宮木先生も疑問に思ったことをすぐその場で質問されたり、レポートを手早く的確にまとめられたりと、意欲的に取り組まれています。実践実習の開始を控え、東京キャンパスでの準備期間も残りわずかとなりました。今後とも充実した研修の日々を送れますことをグループ員一同心より願っております。



お金の弁別（視覚障害体験）



白杖による歩行の体験



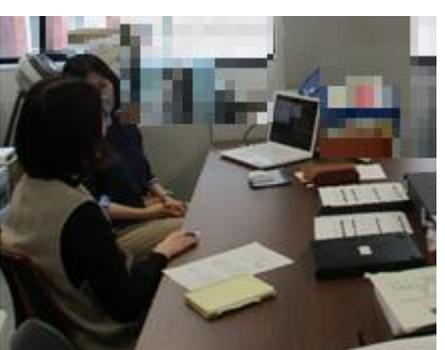
点字盤の使用



車椅子の体験



補助具を用いた食事の体験



自閉症について対談